

平成 30 年 4 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

4 月の業種別景況の前月比 DI 値は 14 業種の内、好転が 3 業種、昨年同等が 7 業種、悪化が 4 業種となり、全体の景況感 DI 値も 3 月に比べ悪化した。

繊維工業では仕事量が確保できており、また商店街でも売上が好調な店舗が複数あったとの報告があったが、小売業、サービス業では売上の減少から、利益確保が厳しいとの報告があった。

山口県の中小企業は、人件費や原材料費のコストアップから収益が悪化しており、慢性的な人手不足が続いている。

山口県の主要指標 DI 値 (平成 30 年 4 月末現在)

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況 (< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)

前年同月比は、好転： 6.3% 悪化： 20.0% DI 値： ▲13.7% ポイント

売上高 (< 増加 > - < 減少 > = < DI 値 >)

前年同月比は、増加： 20.0% 減少： 25.0% DI 値： ▲5.0% ポイント

収益状況 (< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)

前年同月比は、好転： 12.5% 悪化： 21.3% DI 値： ▲8.8% ポイント

山口県の業種別 DI 値 (業界の景況) (平成 30 年 4 月末現在)

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	繊維工業	木材・木製品	印刷	窯業・土石製品	一般機器	輸送機器	全製造業
▲28.6	25.0	▲33.3	▲50.0	▲16.7	0.0	0.0	▲12.1
							

卸売業	小売業	商店街	サービス業	建設業	運輸業	その他	全非製造業	全体
20.0	▲33.3	▲50.0	▲9.1	▲30.0	28.6	▲100.0	▲14.9	▲13.7
								

特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	維新150年の効果が菓子業界に届いていないので、ゴールデンウィークに期待。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	雇用状況が多少改善されつつあるが、賃金が上昇している。	パン・菓子製造業 下関市
	4/26時点での売上は対前年同月比でほぼイーブンである。平日の来館者数・売上とも好調に推移するものの、土日の業績が落ちている。長門市にオープンしたセンザキッチンの影響を多少受けている模様。今年度経済産業省「地域文化資源活用空間創出事業費補助金（商店街支援事業）」の採択が決まり、毎月開催のイベントの内容を強化していく。	水産食料品製造業 萩市
	原材料の値上げがじわじわと影響している。また、配送料の増加も大きく、人手も確保しにくい。今後の世の流れが読みづらい。	水産食料品製造業 下関市
	4月は、例年に比べ高温の日が多く、野菜価格が安定する要因となったが、このような地球温暖化の影響により、天候の異変状況が高まってきている。突然の自然災害へ対応できるような仕組みづくりが必要になってきている。地球温暖化をこれ以上進めない社会づくりのため、日本においても、公共交通の燃料電池車への切り替え、水素ステーションの増設や家庭用燃料電池の普及など、具体的な取り組みが必要となる。	精穀・製粉業
繊維工業	連休前までの納品が終わり、引き続き追加の発注がある。仕事量は確保できているものの、資材等のつなががうまくいかず現場がやや薄い状況である。製品納期がほぼ同じであるため先の生産が心配である。	外衣・シャツ製造業 萩市
	3月30日外国人技能実習生6名（ベトナム人）帰国。 4月9日外国人技能実習生6名（ベトナム人）来日。 現在、ベトナム人40名＋中国人17名＝57名	外衣・シャツ製造業 岩国市
	ハローワークに求人を申込しても希望者は特になく、給与条件等が他業種よりよければ応募が見込まれるが、業界での水準を大きく上回ることは難しい。人材の雇用に力を注ぎたい。	外衣・シャツ製造業 山陽小野田市
木材・木製品	少しずつ生産が多くなってきている。	製材業・木製品製造業 山口市
	新年度の公共事業が発注されるまでの期間があるので、民間事業の受注に苦労している。	製材業・木製品製造業 下関市
	小規模製作所で後継者不足、仕事量不足のため廃業が1社あり。今後の大きな課題。	製材業・木製品製造業 岩国市
印刷	中旬まではそれなりの受注量があったが、後半にかけて伸び悩んでいる。	印刷 下関市

	案件も少なく、収益も悪い。	印刷 山口市
窯業・土石製品	4月の出荷量は (平成29年4月) 骨材 101%、路盤材56%、再生材118% ↓ (平成30年4月) 骨材97%、路盤材137%、再生材95%	砕石製造業
	出荷量は、対前月比105%、対前年同月比100%。平成29年度出荷は、対前年度比100%。平成30年度は前年度比約92%と厳しい見通しとなっている。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン価格は安定している。	生コンクリート製造業
	先日開催された「白狐まつり」に山口支部が出店をし、組合のPR活動を行った。各自製品を持ち寄り展示したところ石臼に足を止める人が多く、コーヒー豆を挽く体験を行ったところ、感触と香りが好評だった。展示によるPRより体験型のPR方法も模索していかなければならない。	石工品製造業
	4月の売上は低迷。明治維新150周年のイベント効果が感じられない。対前年同月比でギフト・卸関係・百貨店・浅草アンテナショップの売上は横ばい、明倫学舎の売上は若干の増加となっている。	陶磁器・同関連 製品製造業
一般機器	年度初めだが概して良好。自動車関連、海外プラント関係(中国)、鋼構造物(鉄骨建屋関係)も順調。しかし、慢性的な人材不足が受注の機会損失を招いている。解決策の一つとして、生産性向上に取り組み、7月に組合員内で教育訓練を行う。	一般機械器具製造業 防府市
	機械検査、機械加工関係、食肉加工、惣菜、自動車、造船関係等全ての職種で業績は好調で、残業も多く、外国人技能実習生受入増員相談が多い。また、技能実習生の増加に伴い、指導者としての高度技能者の受入相談も多い。制度改正に伴う3号移行者の入国も順調。拡大枠の利用についても順調で、今後とも増員の傾向にある。介護の受け入れについても、N3取得者の目途が立ち、今後受入の準備をしていく。	一般機械器具製造業 宇部市
輸送機器	現状鉄道車両、半導体製造装置、産業プラント部門ともに繁忙な状況が継続中。	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	海苔の入庫数が増加し海苔の保管料として売上が6.7%増収となった。	乾物卸売業
	時化の多い時期のため魚の入荷が少ない。ふくシーズンも終わりである。	生鮮・魚介卸売業
	気温の上昇に伴う飲料商品の売上増加に期待。	各種商品卸売業
小売業	中国人による爆買いの影響で、昨年末より資生堂の商品の欠品が続いており、各店舗は売り損じている模様。	化粧品小売業

	他のメーカーにおいては問題なく、売上等に変化はない。	
	新年度を迎え、小売業全般に品物や提供サービスが動き始めた。新規の仕入れや投資も活発になり、人材雇用も開始され、業界全体が動き始める時期となった。飲食店も歓送迎会需要を中心に活気づき、売上規模も拡大している。地方都市ではゴールデンウィーク中は経済が停滞するので、それまでの短期決戦にエネルギーを注いだ月となった。	各種商品小売業 岩国市
	月末よりゴールデンウィークのイベントがあり、天候が良ければ売上に期待出来る。空き店舗が多いのでイベントだけに頼るのではなく違う角度からも考える必要がある。	各種商品小売業 山口市
	入学・新学期シーズンに伴い、来街者が増加傾向にある。気候も暖かくなってきたので、来街者数の増加に繋がって欲しい。	各種商品小売業 下関市
	仙崎での道の駅開業などの影響もあり客数、売上とも前年を下回る状況。	各種商品小売業 長門市
商店街	来街者数が曜日によって極端に差があった。パート、社員ともに採用が厳しく人手不足が続く。婦人服は春物、夏物、季節商品の購入で多少の上向き。化粧品、雑貨小物、ネイルサロンは好調。	山口市
	しばらく新規出店もなく厳しい状況が続いている。消費行動も鈍い。	宇部市
	野菜等の値段が下がり落ち着きつつある。衣料品の購入も多少ある。全体的に人の動きもあり、商店街全体に影響することを期待。5～6月空き店舗に2店出店予定であり、活気付くのを期待している。	萩市
サービス業	3月の例年以上の好景気が入学シーズンの終わりまで続いた。中旬から客数が落ちたが、連休前の下旬になって客足が伸びて来たので、例年通りの見込み。	美容業
	天候不順のため景気動向が見えにくい。	理容業
	山口県における平成29年度自動車車検台数（継続検査台数）の集計結果が公表され、登録車と軽自動車の合計が413,621台となり、対前年度比2.9%のマイナスとなった。特に登録車は、対前年度比6.3%のマイナスと大きく落ち込んだ。この減少要因は、3年、5年、7年前の新車販売が振るわなかったことが影響したといわれており、夏頃まではこの状態が続くらしい。整備事業者にとっては、厳しい経営環境にさらされているといえる。	自動車整備業
	人手不足が続き、機会ロスが発生している。	スポーツ・健康教授業

	3月の好調から昨年よりいい状況が訪れると予想していたが、4月分が3月末に前倒しになっただけという結果になった。好天が続くと品物が集まるが、悪天候や気温低下があると品物の出が悪くなり、結果的にクリーニング需要が縮小状態ということに変わらない。各社で値上げや、品物を集める工夫をして売上高の維持に努めているが、利益確保が難しい状況が続いている。	普通洗濯業
	春になり人の動きが活発になってきた。収益面ではバス代の高騰が問題となっている。	旅行業
	宿泊者数は対前年同月比101.1%、売上は対前年同月比102.2%となり前年より増加した。	旅館業 山口市
	宿泊施設の減少及び縮小が加速している。事業主の高齢化に加え、売上や宿泊者の減少が継続している。	旅館業 長門市
	宿泊人数は減少。飲食・宴会に関しては順調で回復傾向の兆しがある。	旅館業 下関市
	歓迎会などで例年通り客足が伸びた。天候の影響もさほどない。アルバイトの入れ替わりの時期である。	飲食業
建設業	中電への工事申請3月143件（山口支部分113件）、前年同月136件（同89件）。太陽光発電への申請20件（前年13件）、オール電化申請85件（前年85件）。LED街路灯への切り替え・新設申請17件（前年11件）であった。	電気工事業
	全般的には工事量は減少しているが人手不足で苦勞している事業所もある。公共工事で工期の延長（又は延長が見込まれる）物件が発生している。	左官業
	例年新年度が始まったばかりの1年で一番の閑散期。ゴールデンウィーク明けから6月初旬にかけて仕事が入りだす。燃料値上げの影響を受けている。	管工事業
	山口県の工事発注以外は工事発注なし。建設工業新聞の情報によると国の財務省は工事の量より質を重んじ、工事量は増加する気配がないとのこと。地方については配慮するとのことであるがあまり期待が出来ない。都市部とは違い地方はまだ公共工事への依存度が高い。	土木工事業 柳井市
	公共工事の発注が少ない。入札しても、他地域の業者が指名に入ったり、電子入札の同額時には役所のパソコン内のクジで決められたりするので、なかなか受注出来ない。仕事のない業者は、他業者の下請けをして凌いでいる。	土木工事業 周南市
	受注高は対前年同月比102.4%、今年度の累計は対前年比174.0%	土木工事業 萩市
	4月になり工事量は少し増加しているが、瓦屋根の物件は少なくなっている。依然として他の屋根材（スレート瓦、金属屋根材）が増加しており、工事量の増	屋根工事業

	加にはつながっていない。	
	出来高が減少し、3月末までの仕入れと外注費が大きくかかったことで収益状況は悪くなったが、各物件の請負金額の状況が改善したこともあり、資金繰りは成り立った。5～6月末までは、まとまった物件がないので、収益状況、資金繰りがともに悪化しそうである。	内装工事業
運輸業	相変わらずの稼働車両不足に悩まされながらも輸送関係は輸出、国内向けの物流は活発で、対前年同月比約1.3%のプラスとなった。油関係は2.3円の値上げ。	一般貨物自動車運送業 下松市
	今月も輸送受注は、前年同月比プラスとなった。燃料費は3月に一旦落ち着いたが4月に入り再び上昇。4月1日より運賃見直しの兆しが出てきた。	一般貨物自動車運送業 防府市
	荷物の情報は多いが、空き車両の情報は少ない状態である。季節柄飲料の荷物が増えてきている。	一般貨物自動車運送業 宇部市
	予約数は低迷が続いている。客を待つ時間が長くなっている。	一般旅客自動車運送業 下関市
	タクシーチケットの取扱金額は、対前年同月比▲0.3%（平成30年3月1日～平成30年4月20日分）。3月1日～31日分は+-0、4月1日～20日分は▲0.9%。ほぼ前年並みの取扱いになった。当組合の取扱は、光市、下松市、周南市、防府市の地域であり、周南▲0.5%、下松+12.6%、光+7.3%、防府市地区が▲7.9%で、組合員の全域では+0.5%、地区外（員外）▲7.4%で合計+-0（+1,050円）。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動するが、CPが下がり（前月485.0\$/トンが今月467.5\$/トン、前年545.0\$/トン）、輸送用バンカーC重油も（前月373.0\$/トンが今月366.0\$/トン、前年300.0\$/トン）減少。為替も円高（前月108.96円/\$が107.07円/\$）になり、燃料単価は前月より▲2.9%減少し、対前年同月比▲8.2%となった。タクシー乗務員は慢性的に不足し、稼働率が下がっているため、曜日や天候、時間帯によっては、配車が大幅に遅れる状況。3月になってやや回復の気配もあるが、4月の前半は取扱金額のマイナスが続いた事もあり、不安定な状態。	一般旅客自動車運送業 周南市
	全般的に、取扱高の伸びのないまま推移している。	港湾運送業
その他非製造業	組合員が2社脱退。理由は、外国人技能実習制度が遅れていることと経営状況が困難であり経費（賦課金等）を削減したいとのこと。介護業界では永続的な人材不足と介護給付の減少により、経営が困難である事業所が多い模様。	介護事業